



PATENT  
88518.0002

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of:

KOTAKA, et al.

Serial No: 10/810,341

Filed: March 26, 2004

For: Facsimile and Information  
Processing Apparatus

Art Unit: Not Assigned

Examiner: Not Assigned

**TRANSMITTAL OF PRIORITY DOCUMENT**

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

Dear Sir:

Enclosed herewith is a certified copy of Japanese patent application Nos. 2003-089638 and 2003-089639, which were filed March 28, 2003, and application Nos. 2003-424492 and 2003-424493, which were filed December 22, 2003, from which priority is claimed under 35 U.S.C. § 119 and Rule 55.

Acknowledgment of the priority document(s) is respectfully requested to ensure that the subject information appears on the printed patent.

Respectfully submitted,

HOGAN & HARTSON, L.L.P.

Date: April 30, 2004

By: 

Anthony J. Orler  
Registration No. 41,232  
Attorney for Applicant(s)

500 South Grand Avenue, Suite 1900  
Los Angeles, California 90071  
Telephone: 213-337-6700  
Facsimile: 213-337-6701

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service with sufficient postage as first class mail in an envelope addressed to:

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450, on

April 30, 2004

Date of Deposit

Shingale Ferguson

Name

 April 30, 2004

Signature Date

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2003年 3月28日

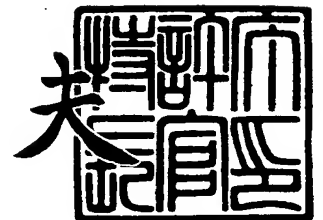
出願番号  
Application Number: 特願2003-089638  
[ST. 10/C]: [JP 2003-089638]

出願人  
Applicant(s): セイコーエプソン株式会社

2004年 4月13日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井 康夫



出証番号 出証特2004-3030479

【書類名】 特許願

【整理番号】 J0098547

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 1/00

【発明者】

    【住所又は居所】 長野県諏訪市大和 3 丁目 3 番 5 号 セイコーエプソン株式会社内

    【氏名】 小高 教

【発明者】

    【住所又は居所】 長野県諏訪市大和 3 丁目 3 番 5 号 セイコーエプソン株式会社内

    【氏名】 内山 順也

【特許出願人】

    【識別番号】 000002369

    【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100098235

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 金井 英幸

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 062606

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

    【包括委任状番号】 0000258

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ファクシミリ装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表示装置及び入力装置を具備したファクシミリ装置であって

、  
FAX 送信すべき原稿から FAX データを生成するための読取ジョブ、FAX データを指定されている FAX 送信先に送信するための FAX 送信ジョブ、送信されてきた FAX データを受信して記憶するための FAX 受信ジョブ、FAX 受信ジョブにより受信され記憶された FAX データに基づく印刷を行うための印刷ジョブとを実行可能な FAX 制御手段と、

前記表示装置及び前記入力装置を、ユーザが、前記入力装置に対してボタンを押下する操作を行うことにより、未完了の各ジョブの内容を、1 ジョブずつ表示させることができる手段として動作させる表示・入力装置制御手段

とを、備えることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 2】 表示装置及び入力装置を具備したファクシミリ装置であって

、  
FAX 送信すべき原稿から FAX データを生成するための読取ジョブ、FAX データを指定されている FAX 送信先に送信するための FAX 送信ジョブ、送信されてきた FAX データを受信して記憶するための FAX 受信ジョブ、FAX 受信ジョブにより受信され記憶された FAX データに基づく印刷を行うための印刷ジョブとを実行可能であると共に、FAX 送信ジョブ及び印刷ジョブのキューイングが可能な FAX 制御手段と、

前記表示装置及び前記入力装置を、ユーザが、前記入力装置を操作することにより、未完了の各ジョブの内容を、前記表示装置に、読取ジョブ、FAX 送信ジョブという順で、1 ジョブずつ表示させることができ、複数の FAX 送信ジョブが存在する場合には、各 FAX 送信ジョブの内容を、各 FAX 送信ジョブの管理開始時刻順とは逆順で表示させることができ手段として動作させる表示・入力装置制御手段

とを、備えることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 3】 表示装置及び入力装置を具備したファクシミリ装置であって

、  
FAX 送信すべき原稿から FAX データを生成するための読取ジョブ、FAX データを指定されている FAX 送信先に送信するための FAX 送信ジョブ、送信されてきた FAX データを受信して記憶するための FAX 受信ジョブ、FAX 受信ジョブにより受信され記憶された FAX データに基づく印刷を行うための印刷ジョブとを実行可能であると共に、FAX 送信ジョブ及び印刷ジョブのキューイングが可能な FAX 制御手段と、

前記表示装置及び前記入力装置を、ユーザが、前記入力装置を操作することにより、未完了の各ジョブの内容を、前記表示装置に、読取ジョブ、FAX 送信ジョブ、印刷ジョブ、FAX 受信ジョブという順で、1 ジョブずつ表示させることができ、複数の FAX 送信ジョブが存在する場合には、各 FAX 送信ジョブの内容を、各 FAX 送信ジョブの管理開始時刻順とは逆順で表示させることができ、複数の印刷ジョブが存在する場合には、各印刷ジョブの内容を、各印刷ジョブの管理開始時刻順と同順で表示させることができる手段として動作させる表示・入力装置制御手段

とを、備えることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 4】 前記表示・入力装置制御手段は、前記表示装置及び前記入力装置を、或るジョブの内容が前記表示装置に表示されているときに、前記入力装置を操作することにより、ユーザが、そのジョブの中止指示を出せる手段として動作させる

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載のファクシミリ装置

。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

周知のように、近年のファクシミリ装置の多くは、FAX送信すべき原稿からFAXデータを生成するための読取ジョブ、FAXデータを指定されているFAX送信先に送信するためのFAX送信ジョブ、送信されてきたFAXデータを受信して記憶するためのFAX受信ジョブ、FAX受信ジョブにより受信され記憶されたFAXデータに基づく印刷を行うための印刷ジョブを、並行して実行できる装置であるとともに、FAX送信ジョブ及び印刷ジョブのキューイングが可能な装置となっている。要するに、近年のファクシミリ装置の多くは、未送信のFAXデータが残っていてもFAX原稿の読み取りが可能であり、受信したFAXデータ（未印刷のFAXデータ）が残っていてもFAX受信が可能な装置となっている。

#### 【0003】

そして、そのようなファクシミリ装置（複数のジョブを並行して実行可能なファクシミリ装置）は、通常、その筐体（コンソール部分）に設けられているディスプレイ上に、実行中／実行待機中の各ジョブの内容に関する簡単な情報（以下、概要情報と表記する）のリストを表示させることが可能であるとともに、そのリストから或るジョブの概要情報を選択する操作がなされたときに、そのジョブについての、より具体的な内容に関する情報（以下、詳細情報と表記する）がディスプレイ上に表示される装置となっている。また、或るジョブについての詳細情報を確認したユーザが、他のジョブについての詳細情報を確認したくなった場合には、概要情報のリストを表示させるための操作を行ってから、目的とするジョブについての概要情報を選択する操作を行わなければならない装置ともなっている。

#### 【0004】

##### 【発明が解決しようとする課題】

上記説明から明らかなように、既存のファクシミリ装置は、実行中／実行待機中の各ジョブの内容を確認するために、煩雑な作業を行わなければならない装置となっている。

#### 【0005】

本発明は、このような現状に鑑みなされたものであり、本発明の課題は、実行

中／実行待機中の各ジョブの内容を確認するための作業がより簡単に行えるファクシミリ装置を、提供することにある。

#### 【0006】

##### 【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明の第1の態様のファクシミリ装置は、FAX送信すべき原稿からFAXデータを生成するための読取ジョブ、FAXデータを指定されているFAX送信先に送信するためのFAX送信ジョブ、送信されてきたFAXデータを受信して記憶するためのFAX受信ジョブ、FAX受信ジョブにより受信され記憶されたFAXデータに基づく印刷を行うための印刷ジョブとを実行可能なFAX制御手段と、表示装置及び入力装置を、ユーザが、入力装置に対してボタンを押下する操作を行うことにより、未完了の各ジョブの内容を、1ジョブずつ表示させることができる手段として動作させる表示・入力装置制御手段とを、備える。

#### 【0007】

また、本発明の第2の態様のファクシミリ装置は、FAX送信すべき原稿からFAXデータを生成するための読取ジョブ、FAXデータを指定されているFAX送信先に送信するためのFAX送信ジョブ、送信されてきたFAXデータを受信して記憶するためのFAX受信ジョブ、FAX受信ジョブにより受信され記憶されたFAXデータに基づく印刷を行うための印刷ジョブとを実行可能であると共に、FAX送信ジョブ及び印刷ジョブのキューイングが可能なFAX制御手段と、表示装置及び入力装置を、ユーザが、入力装置を操作することにより、未完了の各ジョブの内容を、表示装置に、読取ジョブ、FAX送信ジョブという順で、1ジョブずつ表示させることができ、複数のFAX送信ジョブが存在する場合には、各FAX送信ジョブの内容を、各FAX送信ジョブの管理開始時刻順とは逆順で表示させることができ手段として動作させる表示・入力装置制御手段とを、備える。

#### 【0008】

そして、本発明の第3の態様のファクシミリ装置は、FAX送信すべき原稿からFAXデータを生成するための読取ジョブ、FAXデータを指定されているF

A X 送信先に送信するための F A X 送信ジョブ、送信されてきた F A X データを受信して記憶するための F A X 受信ジョブ、F A X 受信ジョブにより受信され記憶された F A X データに基づく印刷を行うための印刷ジョブとを実行可能であると共に、F A X 送信ジョブ及び印刷ジョブのキューイングが可能な F A X 制御手段と、表示装置及び入力装置を、ユーザが、入力装置を操作することにより、未完了の各ジョブの内容を、表示装置に、読取ジョブ、F A X 送信ジョブ、印刷ジョブ、F A X 受信ジョブという順で、1 ジョブずつ表示させることができ、複数の F A X 送信ジョブが存在する場合には、各 F A X 送信ジョブの内容を、各 F A X 送信ジョブの管理開始時刻順とは逆順で表示させることができ、複数の印刷ジョブが存在する場合には、各印刷ジョブの内容を、各印刷ジョブの管理開始時刻順と同順で表示させることができる手段として動作させる表示・入力装置制御手段とを、備える。

#### 【0009】

すなわち、本発明の各態様のファクシミリ装置は、ジョブの概要情報のリストから概要情報を選択する操作を行うことなく、ユーザが、実行中／実行待機中の各ジョブの内容を確認できる構成を有する。従って、本発明の各態様のファクシミリ装置は、ジョブの概要情報のリストから概要情報を選択する操作が必要とされるファクシミリ装置よりも、実行中／実行待機中の各ジョブの内容を確認する作業が行いやすい装置として機能することになる。

#### 【0010】

なお、本発明のファクシミリ装置を実現する際には、ユーザが内容を確認したいジョブについての情報が先に表示されるようにしておくことが望ましいので、本発明の第2、第3の態様の構成を採用しておくことが望ましい。

#### 【0011】

また、本発明の各態様のファクシミリ装置を実現するに際しては、表示・入力装置制御手段を、表示装置及び入力装置を、或るジョブの内容が表示装置に表示されているときに、入力装置を操作することにより、ユーザが、そのジョブの中止指示を出せる手段として動作させる手段としておくことも出来る。

#### 【0012】



**【発明の実施の形態】**

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して詳細に説明する。

**【0013】**

まず、図1～図3を用いて、本発明の一実施形態に係る実施形態に係るファクシミリ装置10のハードウェア構成を、説明する。

**【0014】**

図1に示してあるように、本実施形態に係るファクシミリ装置10は、制御ユニット11とスキャナ12とプリンタ13とを組み合わせた装置である。また、本実施形態に係るファクシミリ装置10は、図2に示してあるように、一般的なデジタル複合機／コピー機と同様の外観を有する装置となっている。

**【0015】**

このファクシミリ装置10に用いられているプリンタ13は、コンピュータの周辺機器として使用可能なプリンタに、ファクシミリ装置10を構成するための(制御ユニット11とプリンタ13とを接続するための)拡張ボードが装着された機器である。スキャナ12は、コンピュータの周辺機器として使用可能なスキャナに、ファクシミリ装置10を構成するための(制御ユニット11とスキャナ12とを接続するための)拡張ボードが装着された機器である。このスキャナ12は、両面原稿の読み取りが可能な機器(原稿を裏返せるADF(Automatic Document Feeder))を備えた機器)となっている。

**【0016】**

制御ユニット11は、スキャナ12とプリンタ13と自ユニットを、ファクシミリの送受信が可能な装置として動作させるユニットである。この制御ユニット11は、図1に示してあるように、CPU21、ROM22、RAM23、HDD24、通信制御回路25、画像処理回路26、LCD制御回路27、入力インタフェース回路(入力I/F)28、ネットワークインタフェース回路(NW-I/F)29、モデム30、タッチスクリーン31、スイッチ部32等により構成されている。

**【0017】**

制御ユニット11を構成しているタッチスクリーン31は、液晶ディスプレイ

(LCD) 35 上に透明な接触位置センサ 36 を重ねた素子である。スイッチ部 32 は、図 3 に示してあるように、制御ユニット 11 の筐体上に設けられたスタートボタン 32s、ストップボタン 32c、テンキー等と、それらの制御回路(図示せず)とからなるユニットである。

#### 【0018】

CPU 21 は、ファクシミリ装置 10 の各部(制御ユニット 11 内の各部、スキャナ 12 及びプリンタ 13)を統合的に制御する制御回路である。ROM 22 は、CPU 21 の動作手順を規定するプログラムや CPU 21 (プログラム)が利用するデータが記録されている読み出し専用のメモリである。RAM 23 は、ROM 22 に記録されているプログラムが読み出されるメモリであると共に、CPU 21 (プログラム)の作業領域として用いられるメモリである。通信制御回路 25 は、CPU 21 が、スキャナ 12 或いはプリンタ 13 との間で情報交換(コマンドの送信、画像データの受信、印刷データの送信)を行うために使用する回路である。画像処理回路 26 は、スキャナ 12 によって生成された画像データ(本実施形態では、多値画像データ)に対して各種の画像処理を施すための回路である。

#### 【0019】

LCD 制御回路 27 は、タッチスクリーン 31 (LCD 35)に、CPU 21 から指示された内容の画像(画面)を表示させる回路である。入力インタフェース回路 28 は、ユーザ(ファクシミリ装置 10 の操作者)がテンキー部 32 或いはタッチスクリーン 31 (接触位置センサ 36)に対して行った操作内容を、CPU 21 に通知する回路である。ネットワークインタフェース回路 29 は、制御ユニット 11 を LAN に接続するための回路であり、モデム 30 は、制御ユニット 11 を電話回線網に接続するための回路である。

#### 【0020】

HDD 24 は、一時ファイル(プリンタに供給するデータ、FAX 送信するデータ、受信した FAX データ(印刷してないもの)、他コンピュータに送信するデジタル文書のファイル)、電源が落とされても保持しておくことが必要な各種の情報(登録されている FAX 番号や IP アドレス、実行中/実行待機中の各ジョ

ブに関する情報)を記憶しておくために、制御ユニット11に搭載されている補助記憶装置(ハードディスク装置)である。

#### 【0021】

以下、本ファクシミリ装置10の動作(制御ユニット11の動作)を、説明する。なお、本実施形態に係る制御ユニット11は、スキャナ12、プリンタ13及び自ユニットを、コピー機として動作させることや、スキャナ12及び自ユニットを、デジタル文書作成装置(セットされた原稿からデジタル文書[当該原稿のイメージデータファイル]を作成して他のコンピュータへTCP/IP送信する機能を有する装置)として動作させることも可能なユニットなのであるが、以下では、本ファクシミリ装置10がファクシミリの送受信が可能な装置として動作している場合における制御ユニット11の動作のみを、説明することにする。

#### 【0022】

まず、本実施形態に係る制御ユニット11の概要説明を行う。

#### 【0023】

本実施形態に係る制御ユニット11は、読取ジョブと、FAX送信ジョブと、FAX受信ジョブと、印刷ジョブとを、実行可能なユニットとなっている。ここで、読取ジョブとは、FAX送信を行う原稿をスキャナ12を利用してイメージデータ化し、そのイメージデータに対して画像処理等を行うことによりFAXデータ(FAX送信に実際に用いるデータ)を生成するジョブのことである。また、FAX送信ジョブとは、読取ジョブによって用意されたFAXデータを実際にFAX送信するジョブのことであり、FAX受信ジョブとは、送信されてきたFAXデータを受信するジョブのことである。そして、印刷ジョブとは、FAX受信ジョブにて受信されたFAXデータに応じた内容の印刷物をプリンタ13に印刷させるジョブのことである。

#### 【0024】

また、制御ユニット11は、FAX送信ジョブ及び印刷ジョブについては、実行待機中のジョブが存在し得る(いわゆるキューイングが行える)ユニットであると共に、読取ジョブと、印刷ジョブと、FAX送信ジョブ或いはFAX受信ジョブとを並行して実行可能なユニット(FAX送信ジョブとFAX受信ジョブと

は同時に実行できないユニット)となっている。さらに、制御ユニット11は、通常は、図4に示した構成のFAX用基本画面をタッチスクリーン31上に表示しているユニット(より正確には、読取ジョブを実行していない場合には、ユーザが、図4に示したFAX用基本画面をタッチスクリーン31上に表示させることが出来るユニット;詳細は後述)であると共に、このFAX用基本画面を利用したFAX送信先等の設定作業が行われた後にスタートボタン32s(図3参照)が押下されたときに、読取ジョブを開始するユニットとなっている。

#### 【0025】

そして、本制御ユニット11は、実行中/実行待機中の各ジョブの内容をユーザに提示する際の動作内容、ジョブの中止(削除)指示を受け付ける際の動作内容に特徴があるユニットとなっている。

#### 【0026】

以上のことを前提として、以下、本実施形態に係るファクシミリ装置10(制御ユニット11)の動作を、更に具体的に説明する。

#### 【0027】

制御ユニット11は、実行中/実行待機中の各ジョブの内容をユーザに提示するための処理であるジョブ情報表示処理を、FAX用基本画面(図4)上の“通信管理”ボタン41の押下で始まる所定の操作(“通信管理”ボタン41を押下し、その結果としてタッチスクリーン31上に表示される画面上の特定のボタンを押下する操作:以下、ジョブ情報表示処理開始指示操作と表記する)がなされたときと、読取ジョブの実行時とに、実行するユニットとして構成されている。なお、このジョブ情報表示処理は、ジョブの中止指示を受け付けられる処理ともなっている。

#### 【0028】

さらに、制御ユニット11は、ジョブ情報表示処理を実行していない状態でストップボタン32cが押下された場合には、ジョブの中止指示を受け付けるための処理であるジョブ中止指示受付処理を実行するユニットとして構成されている。

#### 【0029】

まず、ジョブ情報表示処理時の制御ユニット11の動作を説明する。

#### 【0030】

図5に示したように、ジョブ情報表示処理を開始した制御ユニット11は、注目順位が“1”（第1順位）であることを記憶(ステップS101)した後、ジョブ順位が注目順位のジョブに関するFAXジョブ情報表示画面を、タッチスクリーン31上に表示する(ステップS102)。

#### 【0031】

ここで、ジョブ順位とは、実行中／実行待機の各ジョブに対して、読取ジョブ，FAX送信ジョブ，印刷ジョブ，FAX受信ジョブという順に、複数のFAX送信ジョブ間では、ジョブの管理開始順（ジョブが開始／キューイングされた時刻の順）とは逆順となるように、複数の印刷ジョブ間では、ジョブの管理開始順と同一順となるように、付けられる仮想的な順位のことである。

#### 【0032】

また、FAXジョブ情報表示画面とは、図6(A)～(D)、図7(A)～(D)に示したような画面のことである。なお、図7(A)～(D)に示したFAXジョブ情報表示画面は、読取ジョブが開始された結果として開始されたジョブ情報表示処理により、タッチスクリーン31上に表示されるものであり、図7(A)に示したFAXジョブ情報表示画面上の領域51pは、読み取りが完了したページ数が示される領域である。また、図6(A)～(D)に示したFAXジョブ情報表示画面は、ジョブ情報表示処理開始指示操作がなされた結果として開始されたジョブ情報表示処理や、読取ジョブが開始された結果として開始されたジョブ情報表示処理（ただし、読取ジョブの終了後のもの）により、タッチスクリーン31上に表示されるものである。

#### 【0033】

これらの図から推定されるように、FAXジョブ情報表示画面は、ジョブ順位が注目順位と一致しているジョブ（以下、注目順位ジョブと表記する）の内容が示される情報表示領域51，左カーソルボタン52L，右カーソルボタン52R，注目順位／ジョブ総数（“1／4”、“2／4”等）が示されるジョブ順位・総数表示領域53，“戻る”ボタン54等を有する画面となっている。また、F

A X ジョブ情報表示画面は、注目順位が“1”である場合には、左カーソルボタン 5 2 L が無効となる（薄いグレーで表示され、その押下時に何も行われなくなる）画面（図 6（A）、図 7（A））であると共に、注目順位がジョブ総数と一致している場合には、右カーソルボタン 5 2 R が無効となる画面（図 6（D）、図 7（D））となっている。さらに、F A X ジョブ情報表示画面は、読取ジョブが行われていない場合には、“戻る”ボタン 5 4 が有効となり（図 6（A）～（D））、読取ジョブが行われている場合には、“戻る”ボタン 5 4 が有効となる（図 7（A）～（D））画面となっている。

#### 【0 0 3 4】

このような F A X ジョブ情報表示画面をタッチスクリーン 3 1 上に表示した制御ユニット 1 1 は、タッチスクリーン 3 1 上に表示している F A X ジョブ情報表示画面のボタン（有効なもの）が押下されることと、ストップボタン 3 2 c が押下されることと、実行中のジョブが終了することとを、監視する状態（図 5：ステップ S 1 0 3）となる。

#### 【0 0 3 5】

そして、制御ユニット 1 1 は、右カーソルボタン 5 2 R が押下された場合（ステップ S 1 0 3；右カーソル）には、注目順位を次順位に変更する（注目順位に“1”を加算する）処理（ステップ S 1 0 4）を行ってから、再び、ステップ S 1 0 2 以降の処理を開始する。また、制御ユニット 1 1 は、左カーソルボタン 5 2 L が押下された場合（ステップ S 1 0 3；左カーソル）には、注目順位を前順位に変更する（注目順位から“1”を減ずる）処理（ステップ S 1 0 5）を行ってから、再び、ステップ S 1 0 2 以降の処理を開始する。

#### 【0 0 3 6】

すなわち、制御ユニット 1 1 は、図 6（A）～図 6（C）、図 7（A）～図 7（C）に示した F A X ジョブ情報表示画面上の右カーソルボタン 5 2 R が押下された場合には、それぞれ、図 6（B）～図 6（D）、図 7（B）～図 7（D）に示したものに、タッチスクリーン 3 1 上の F A X ジョブ情報表示画面を変更し、図 6（B）～図 6（D）、図 7（B）～図 7（D）に示した F A X ジョブ情報表示画面上の左カーソルボタン 5 2 L が押下された場合には、それぞれ、図 6（A）～（C）、図 7（A）～図 7

(C)に示したものに、タッチスクリーン31上のFAXジョブ情報表示画面を変更する。

#### 【0037】

一方、ストップボタン32cが押下された場合(ステップS103;ストップ)、制御ユニット11は、注目順位ジョブ(ジョブ順位が注目順位と一致しているジョブ)に関するジョブ削除確認画面をタッチスクリーン31上に表示する(ステップS106)。

#### 【0038】

このステップS106で表示されるジョブ削除確認画面は、図8(A)に例示したように、“中止する”ボタン61と“中止しない”ボタン62とを備える画面であると共に、中止対象となっているジョブが何であるかが示される画面となっている。なお、この図8(A)に示したジョブ削除確認画面は、図6(A)に示したFAXジョブ情報表示画面がタッチスクリーン31上に表示されている状態でストップボタン32sが押下された場合にタッチスクリーン31上に表示されるものである。

#### 【0039】

このようなジョブ削除確認画面をタッチスクリーン31上に表示した制御ユニット11は、“中止する”ボタン61、或いは、“中止しない”ボタン62が押下されるのを待機する状態(ステップS107)となり、“中止しない”ボタン62が押下された場合(ステップS107;中止する)には、ステップS102以降の処理を開始する。すなわち、制御ユニット11は、タッチスクリーン31上に、ストップボタン32c押下時に表示していたものと同じFAXジョブ情報表示画面を表示した後、ユーザによるボタン押下、実行中のジョブの完了といったイベントの発生を待機する状態となる。

#### 【0040】

一方、ジョブ削除確認画面(図8(A))上の“中止する”ボタン61が押下された場合(ステップS107;中止する)、制御ユニット11は、ジョブ削除中画面をタッチスクリーン31上に表示した状態で注目順位ジョブを削除する処理(ステップS108)を行う。ここで、ジョブ削除中画面とは、指定されたジョブ

を中止していることをユーザに提示するための画面のことである。例えば、図 8 (A) に示したジョブ削除確認画面上の“中止する” ボタン 61 が押下された場合、タッチスクリーン 31 上には、このジョブ削除中画面として、図 8 (B) に示した画面が、表示される。

#### 【0041】

ステップ S108 (図 5) の処理を終えた制御ユニット 11 は、未完了ジョブが残っているか否かを判断(ステップ S109)し、未完了ジョブが残っていた場合(ステップ S109 ; YES)には、その時点における注目順位が、その時点におけるジョブ順位の最終順位 (=ジョブ削除後の未完了ジョブの総数) を超えているか否かを判断する(ステップ S110)。そして、制御ユニット 11 は、注目順位が最終順位を超えていなかった場合(ステップ S110 ; NO)には、注目順位を変更することなく、ステップ S102 以降の処理を開始し、注目順位が最終順位を超えてた場合(ステップ S110 ; YES)には、注目順位を最終順位に変更(ステップ S111)してから、ステップ S102 以降の処理を開始する。

#### 【0042】

すなわち、制御ユニット 11 は、図 8 (B) に示したジョブ削除中画面をタッチスクリーン 31 上に表示していた場合には、注目順位を“1”に維持したままで、ステップ S102 の処理を実行することにより、図 8 (C) に示した FAX ジョブ情報表示画面 (図 6 (B) に示した FAX ジョブ情報表示画面に相当するものであるが、実行中のジョブ/待機待ち状態にあるジョブの総数が“1”減少しているため、ジョブ順位・総数表示領域 53 内に“1/3”が表示されている FAX ジョブ情報表示画面) をタッチスクリーン 31 上に表示する。

#### 【0043】

また、制御ユニット 11 は、図 6 (D) に示した FAX ジョブ情報表示画面がタッチスクリーン 31 上に表示されている状態でストップボタン 32c が押下され、実行待機中の印刷ジョブが実際に中止 (削除) された場合には、注目順位を“3”に変更した後にステップ S102 の処理を実行する。すなわち、この場合、制御ユニット 11 は、図 6 (C) に示した FAX ジョブ情報表示画面相当の FAX ジョブ情報表示画面 (ジョブ順位・総数表示領域 53 内に“3/3”が示されて



いるもの) をタッチスクリーン 3 1 上に表示する。

#### 【 0 0 4 4 】

一方、ステップ S 1 0 8 (図 5) にてジョブを中止 (削除) する処理を行った結果、未完了ジョブがなくなった場合 (ステップ S 1 0 9 ; NO)、制御ユニット 1 1 は、このジョブ情報表示処理を終了する。また、制御ユニット 1 1 は、F A X ジョブ情報表示画面上の “戻る” ボタン 5 4 (有効なもの) が押下された場合 (ステップ S 1 0 3 ; 戻る) にも、このジョブ情報表示処理を終了する。そして、ジョブ情報表示処理を終了した制御ユニット 1 1 は、ジョブ情報表示処理の開始直前に表示していたものと同じ種類の画面を表示している状態となる。

#### 【 0 0 4 5 】

また、実行中のジョブが終了した場合 (ステップ S 1 0 3 ; ジョブ完了)、制御ユニット 1 1 は、既に説明したステップ S 1 0 9 以降の処理を、行う。すなわち、未完了ジョブがなくなった場合には、このジョブ情報表示処理を終了し、未完了ジョブがあった場合には、必要に応じて注目順位を変更する処理を行った後に、タッチスクリーン 3 1 上の F A X ジョブ情報表示画面を、現状に応じたもの (ジョブ順位・総数表示領域 5 3 の内容が変わったもの、“戻る” ボタン 5 4 の表示形態が変わったもの等) に、変更する。

#### 【 0 0 4 6 】

次に、図 9 及び図 1 0 に示したジョブ中止指示受付処理の流れ図を用いて、ジョブ中止指示受付処理時の制御ユニット 1 1 の動作を説明する。

#### 【 0 0 4 7 】

既に説明したように、このジョブ中止指示受付処理は、ジョブ情報表示処理が行われていない状態 (換言すれば、F A X ジョブ情報表示画面がタッチスクリーン 3 1 上に表示されていない状態) でストップボタン 3 2 c が押下された場合に制御ユニット 1 1 が実行する処理であるが、ジョブ中止指示受付処理の流れ図 (図 9 及び図 1 0) と F A X ジョブ情報表示処理の流れ図 (図 5) を比較すれば明らかなように、このジョブ中止指示受付処理は、F A X ジョブ情報表示処理とその内容が極めて類似した処理となっている。

#### 【 0 0 4 8 】

具体的には、このジョブ中止指示受付処理のステップS201、ステップS202～S207（図9）は、それぞれ、ジョブ情報表示処理（図5）のステップS101、ステップS106～S111と同内容の処理が行われるステップとなっており、ジョブ中止指示受付処理のステップS212～S221（図10）は、それぞれ、ジョブ情報表示処理（図5）のステップS102～S111と同内容の処理が行われるステップとなっている。

#### 【0049】

すなわち、FAXジョブ情報表示画面がタッチスクリーン31上に表示されていない状態でストップボタン32cが押下されたことにより、このジョブ中止指示受付処理を開始した制御ユニット11は、まず、ジョブ順位が第1順位となっているジョブに関するジョブ削除確認画面（図8（A）参照）をタッチスクリーン31上に表示する。そして、ジョブ削除確認画面の表示を行った制御ユニット11は、FAXジョブ情報表示処理のステップS107移行の処理と全く同内容の処理を開始する。

#### 【0050】

最後に、ジョブを削除するしかない（ジョブを削除するという対処しか行えない）エラーが発生した場合における制御ユニット11の動作を、説明しておくことにする。

#### 【0051】

制御ユニット11は、ジョブを中止（削除）するしかないエラーが発生した場合、ジョブを中止するか否かをユーザに問い合わせることなく、ジョブを中止（削除）するユニットとなっている。ただし、制御ユニット11は、ユーザに何らかの作業を行わせなければならないエラーについては、当該作業が完了したことをユーザに確認してから、ジョブを中止（削除）するユニットとなっている。具体的には、スキャナとの間の通信エラーが発生した場合には、図11（A）に示したような画面を表示してから、図11（B）に示したような画面をタッチスクリーン31上に表示してジョブを中止（削除）するユニットとなっている。

#### 【0052】

以上、詳細に説明したように、本制御ユニット11は、FAXジョブ情報表示

処理（図 5）が行われているとき、ジョブの概要情報のリストから概要情報を選択する操作を行うことなく、ユーザが、実行中／実行待機中の各ジョブの内容を確認できる状態となる構成を、有する。従って、本発明の各態様のファクシミリ装置は、ジョブの概要情報のリストから概要情報を選択する操作が必要とされるファクシミリ装置よりも、実行中／実行待機中の各ジョブの内容を確認する作業が行いやすい装置として機能することになる。しかも、FAXジョブ情報表示処理は、ユーザに、（読取ジョブ、）FAX送信ジョブ、印刷ジョブ、FAX受信ジョブという順で、1ジョブずつその内容を提示する処理であると共に、複数のFAX送信ジョブが存在する場合には、各FAX送信ジョブの内容を、各FAX送信ジョブの管理開始時刻順とは逆順で提示し、複数の印刷ジョブが存在する場合には、各印刷ジョブの内容を、各印刷ジョブの管理開始時刻順と同順で提示する処理となっている。

#### 【0053】

そして、FAX受信ジョブ、印刷ジョブは、内容を確認したいケースが滅多に無いジョブである。また、FAX送信ジョブは、受付順（管理開始時刻順）が遅いものを、素早く（単純な操作で）確認できる方が好ましいジョブである。何故ならば、ユーザが作業内容を確認したいと思うタイミングが、作業直後であることが多いからである。

#### 【0054】

従って、本ファクシミリ装置 10 は、内容の確認が不必要なジョブに関する情報を見ないで済む装置ともなっていることになる。

#### 【0055】

##### <変形形態>

本実施形態に係るファクシミリ装置 10 は、各種の変形を行うことが出来る。例えば、ファクシミリ装置 10 は、3種の装置としても機能する装置であったが、ファクシミリ装置 10 を、ファクシミリとしてのみ機能する装置や、ファクシミリ及びコピー機として機能する装置に変形しても良い。

#### 【0056】

また、ファクシミリ装置 10 は、3つの装置（制御ユニット 11、スキャナ 1

2 及びプリンタ 13) が組み合わされた装置であったが、ファクシミリ装置 10 と同等の機能を有する装置を、1 つの装置で実現しても良く、4 つ以上の装置(例えば、組み合わせることによりコピー機として機能する 3 つの装置と、それらの装置からなる装置に、ファクシミリとしての機能を付加できる装置)で実現しても良い。

#### 【0057】

さらに、接触位置センサ 36 の代わりに幾つかの押しボタンスイッチを設けることにより、ファクシミリ装置 10 を実現しても良いことや、ファクシミリ装置 10 に表示させる各種画面の具体的な構成を、上記したものと異なるものとしておいても良いことは、当然のことである。

#### 【図面の簡単な説明】

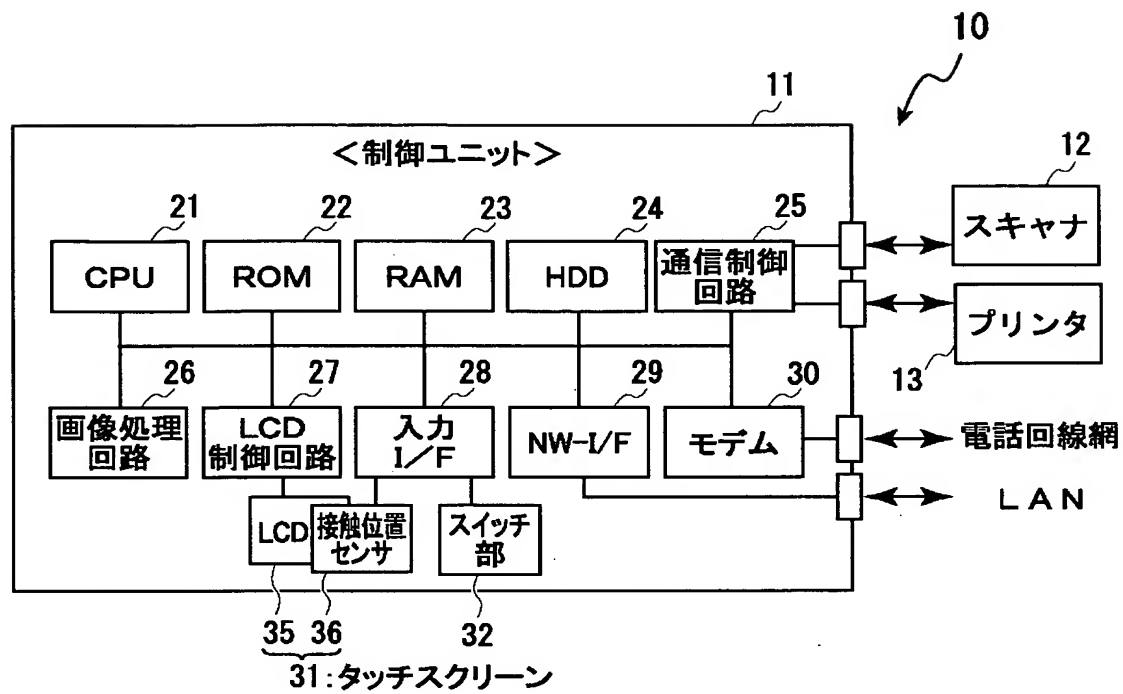
- 【図 1】 本発明の一実施形態に係るファクシミリ装置の構成図。
- 【図 2】 実施形態に係るファクシミリ装置の外観図。
- 【図 3】 実施形態に係るファクシミリ装置に用いられている制御ユニットの外観図。
- 【図 4】 制御ユニットが表示する FAX 用基本画面の説明図。
- 【図 5】 制御ユニットが実行するジョブ情報表示処理の流れ図。
- 【図 6】 ジョブ情報表示処理実行時にタッチスクリーン上に表示される FAX ジョブ情報表示画面の説明図。
- 【図 7】 ジョブ情報表示処理実行時にタッチスクリーン上に表示される FAX ジョブ情報表示画面の説明図。
- 【図 8】 ジョブ情報表示処理実行時にストップボタンが押下された場合にタッチスクリーン上に表示される画面の説明図。
- 【図 9】 制御ユニットが実行するジョブ中止指示受付処理の流れ図。
- 【図 10】 制御ユニットが実行するジョブ中止指示受付処理の、図 9 に続く流れ図。
- 【図 11】 制御ユニットの、或るジョブを中止するしかない状態となったときの動作を説明するための図。

#### 【符号の説明】

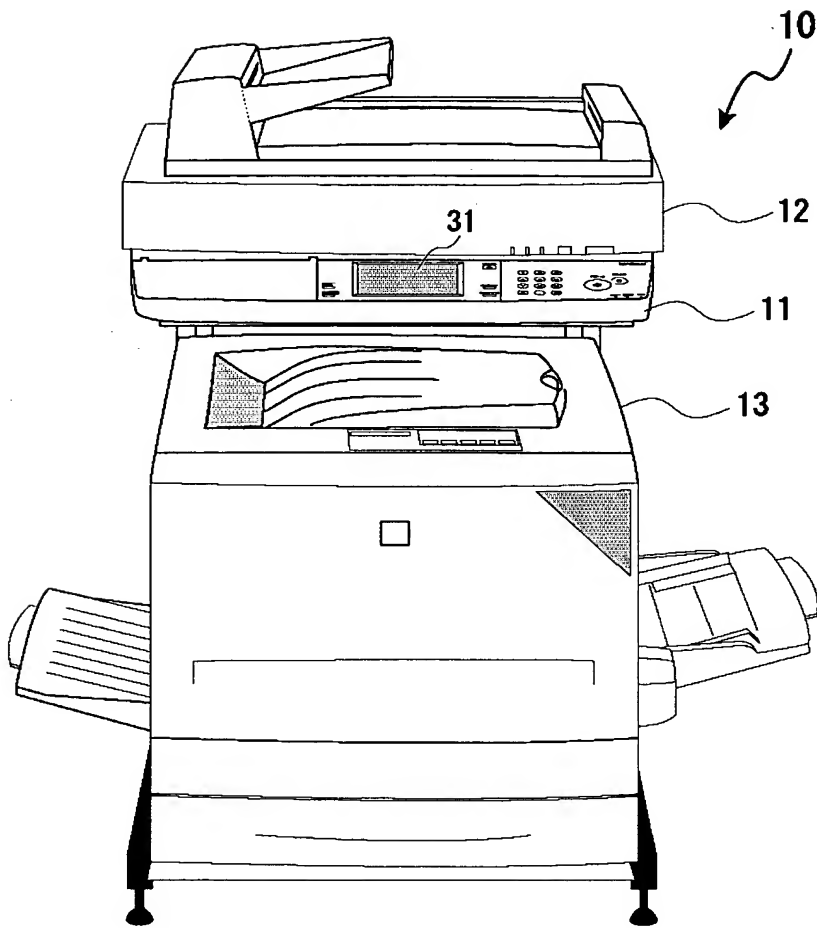
1 0 ファクシミリ装置、 1 1 制御ユニット、 1 2 スキャナ、 1 3 プリ  
ンタ

【書類名】 図面

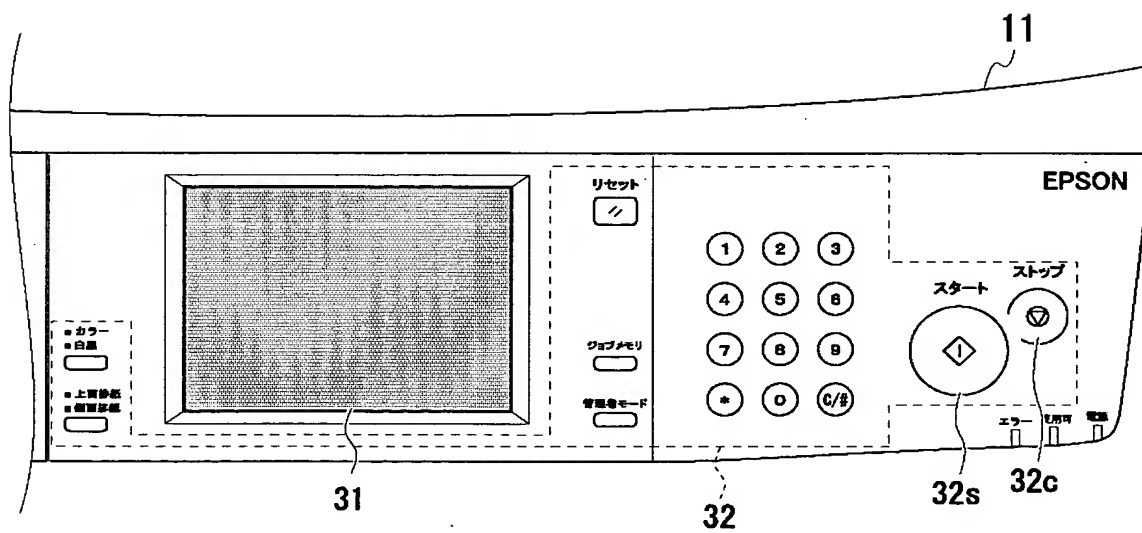
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

モード切替 > FAX送信できます

宛先

オンフック 短縮/グループ ポーズ クリア

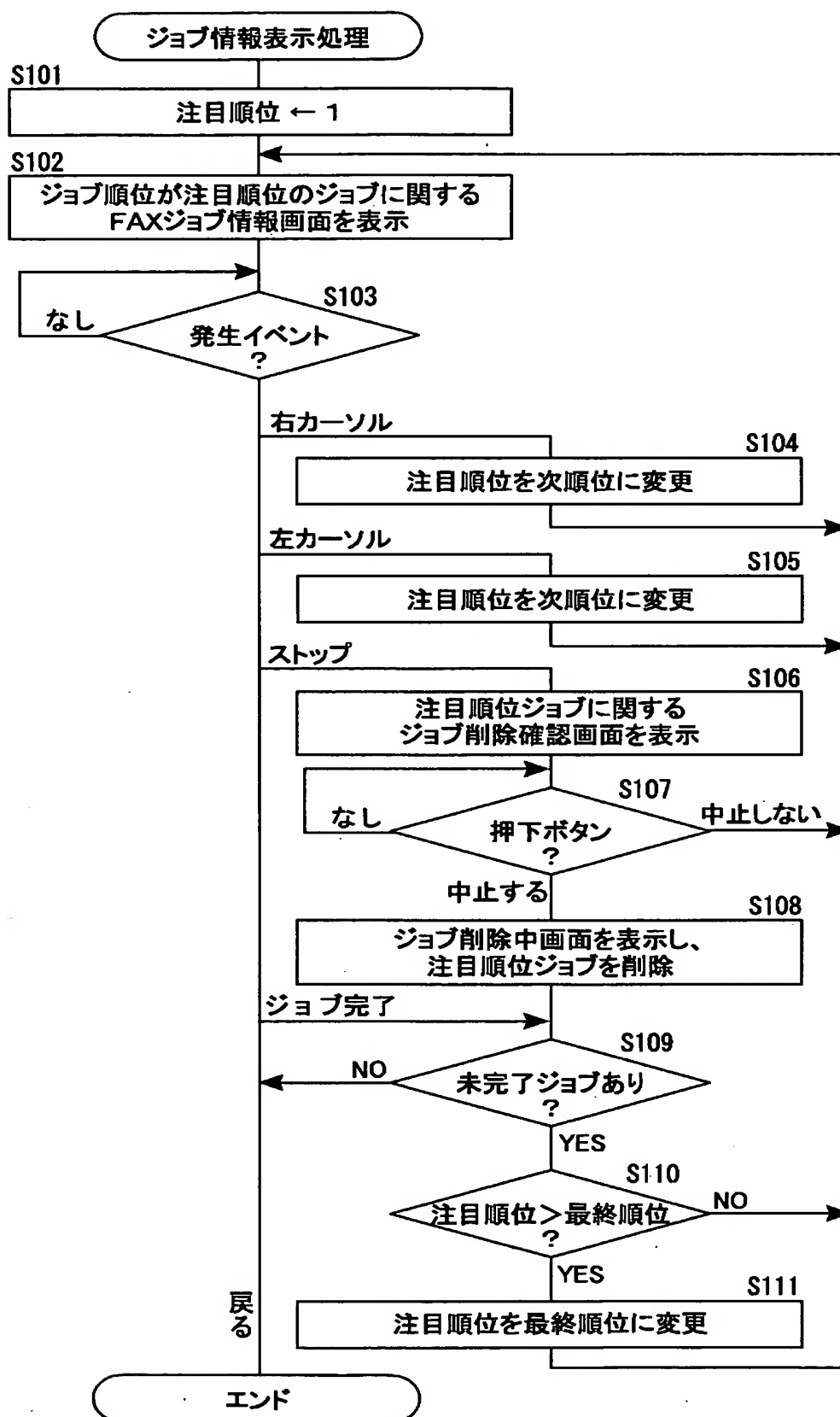
宛先リスト 画質：標準

うすく ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ こく 読み取り：片面

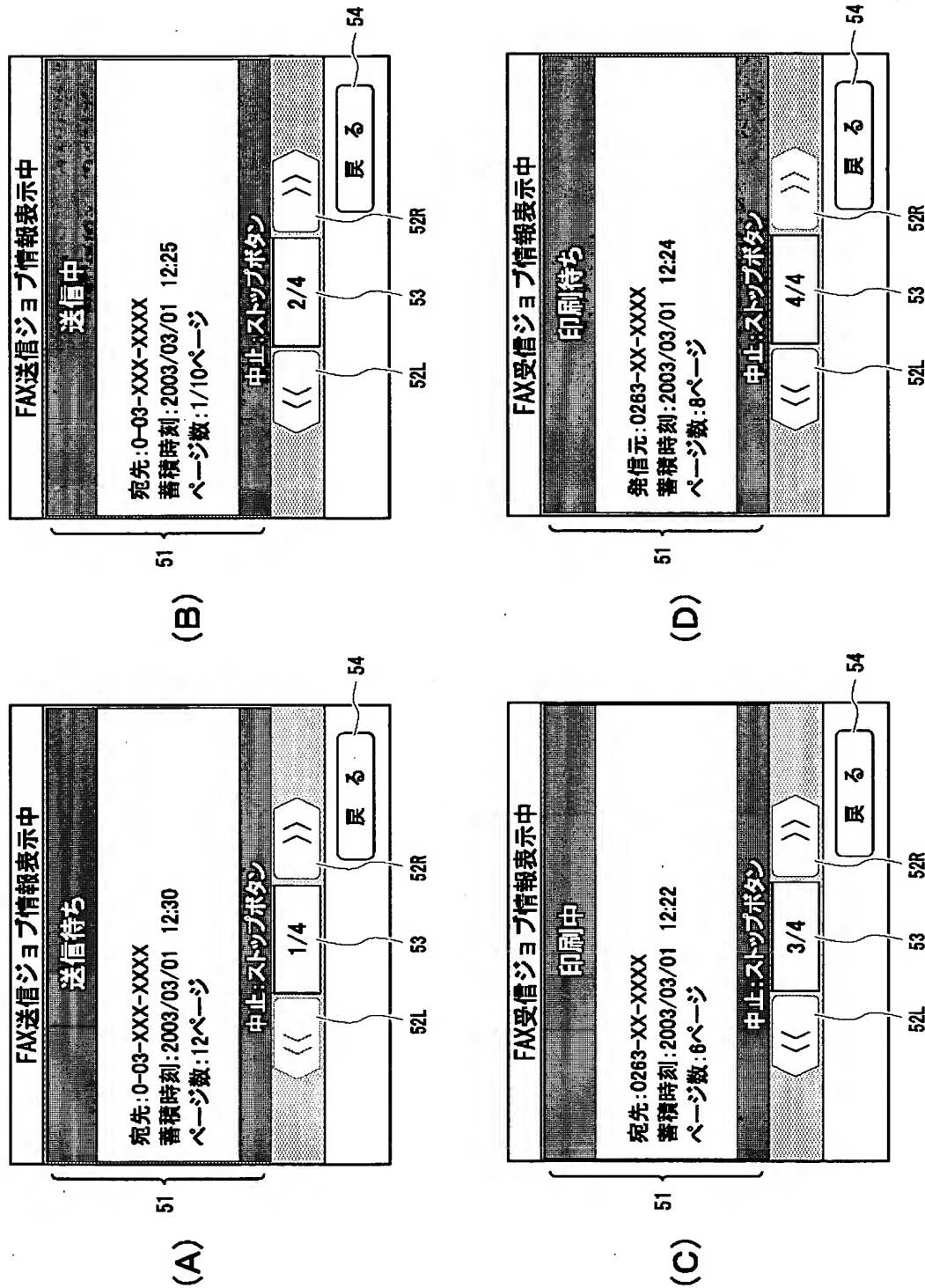
設定 通信管理 41



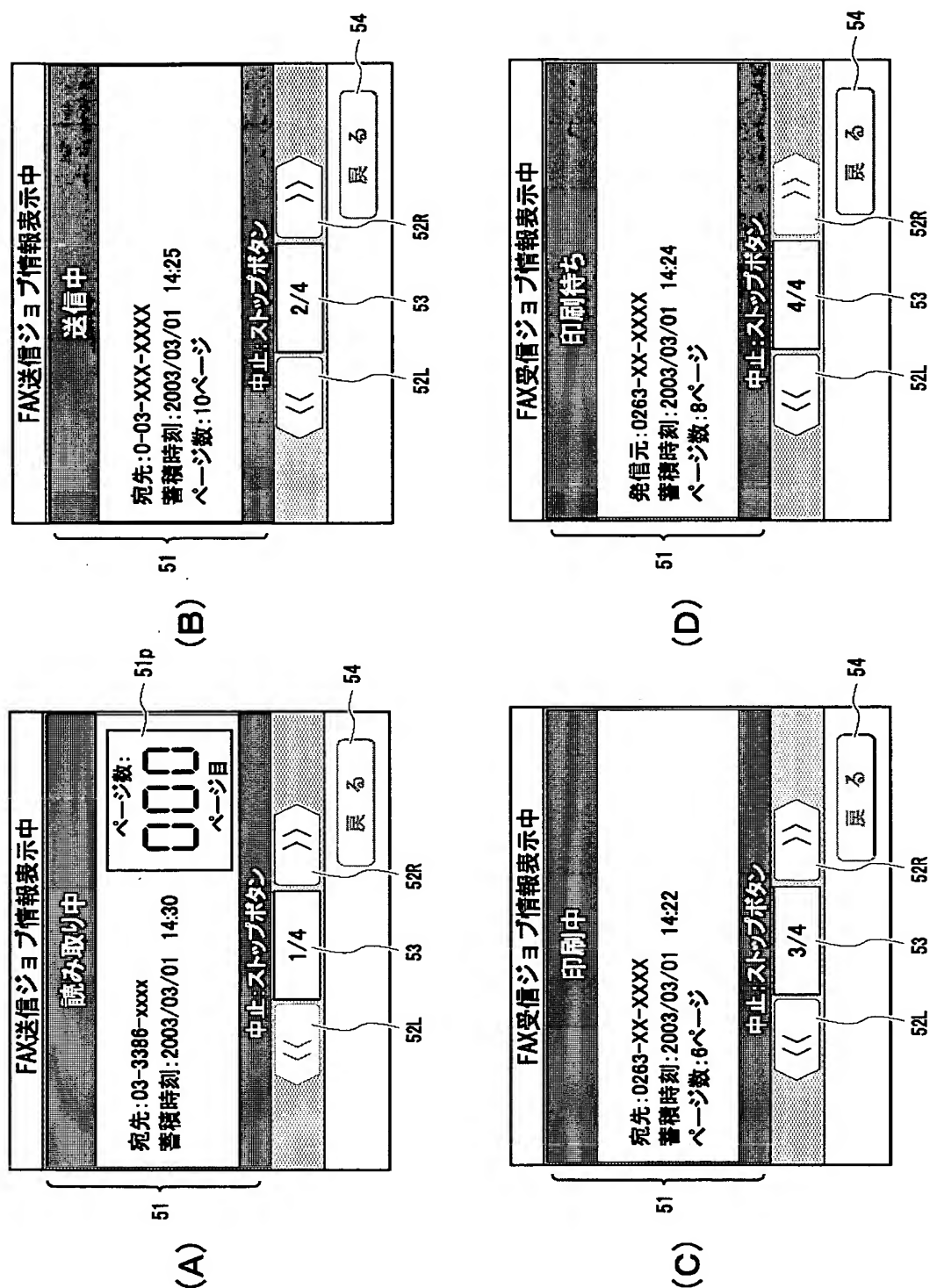
【図 5】



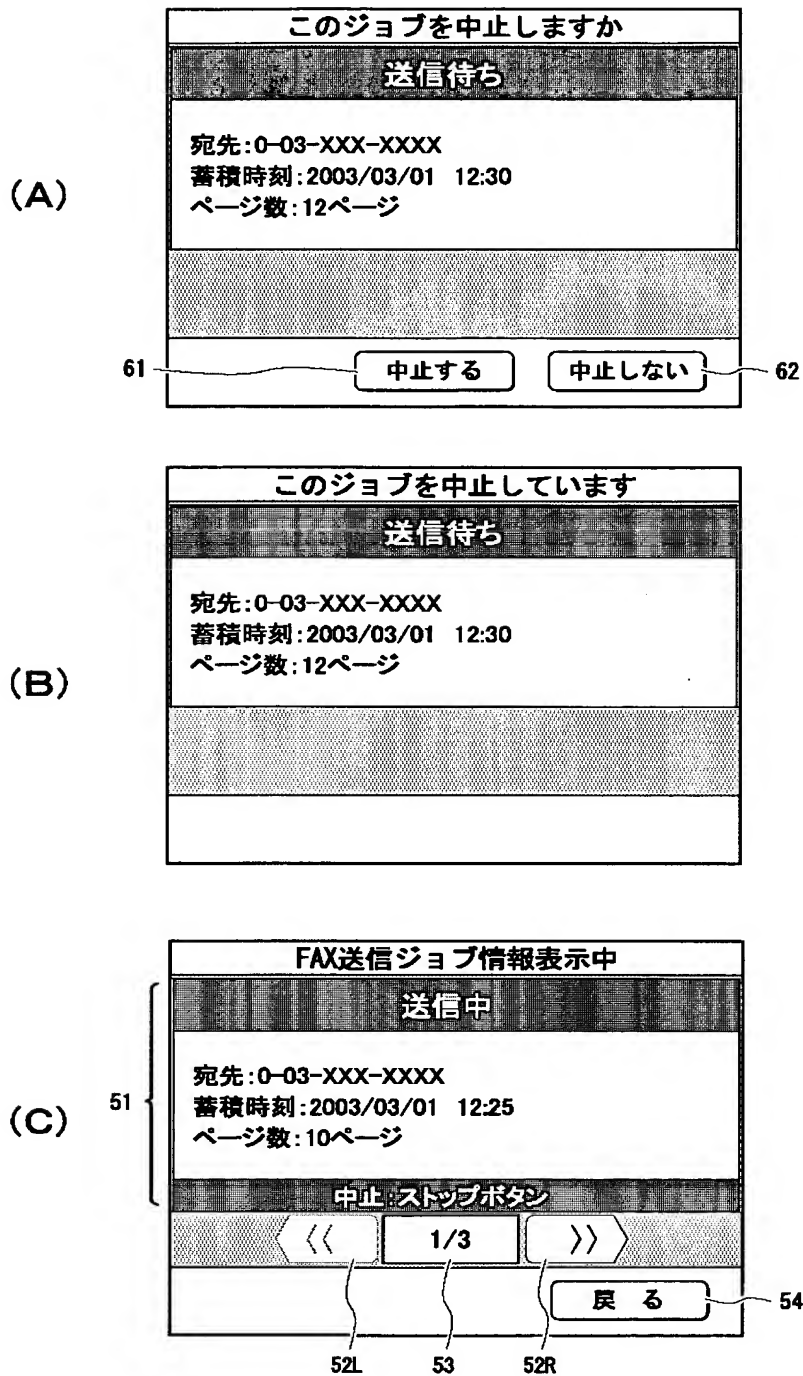
【図 6】



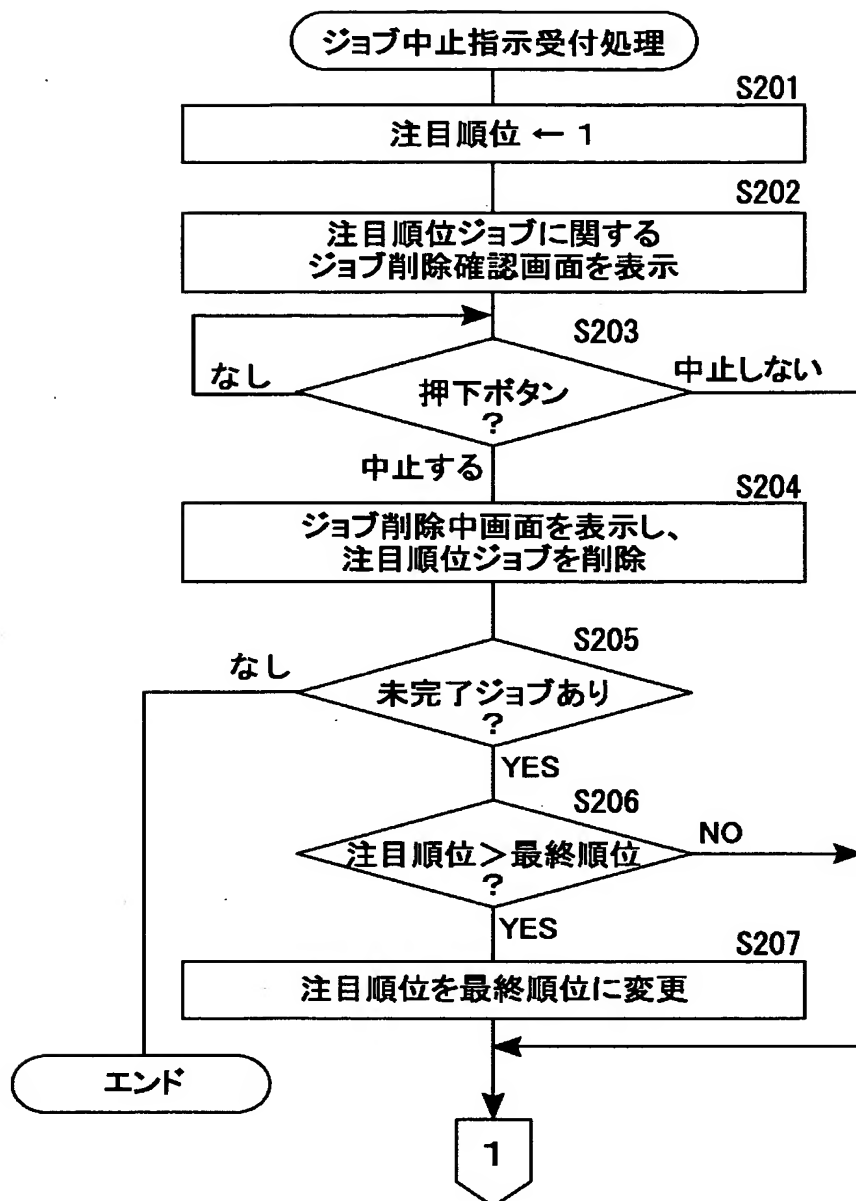
【図 7】



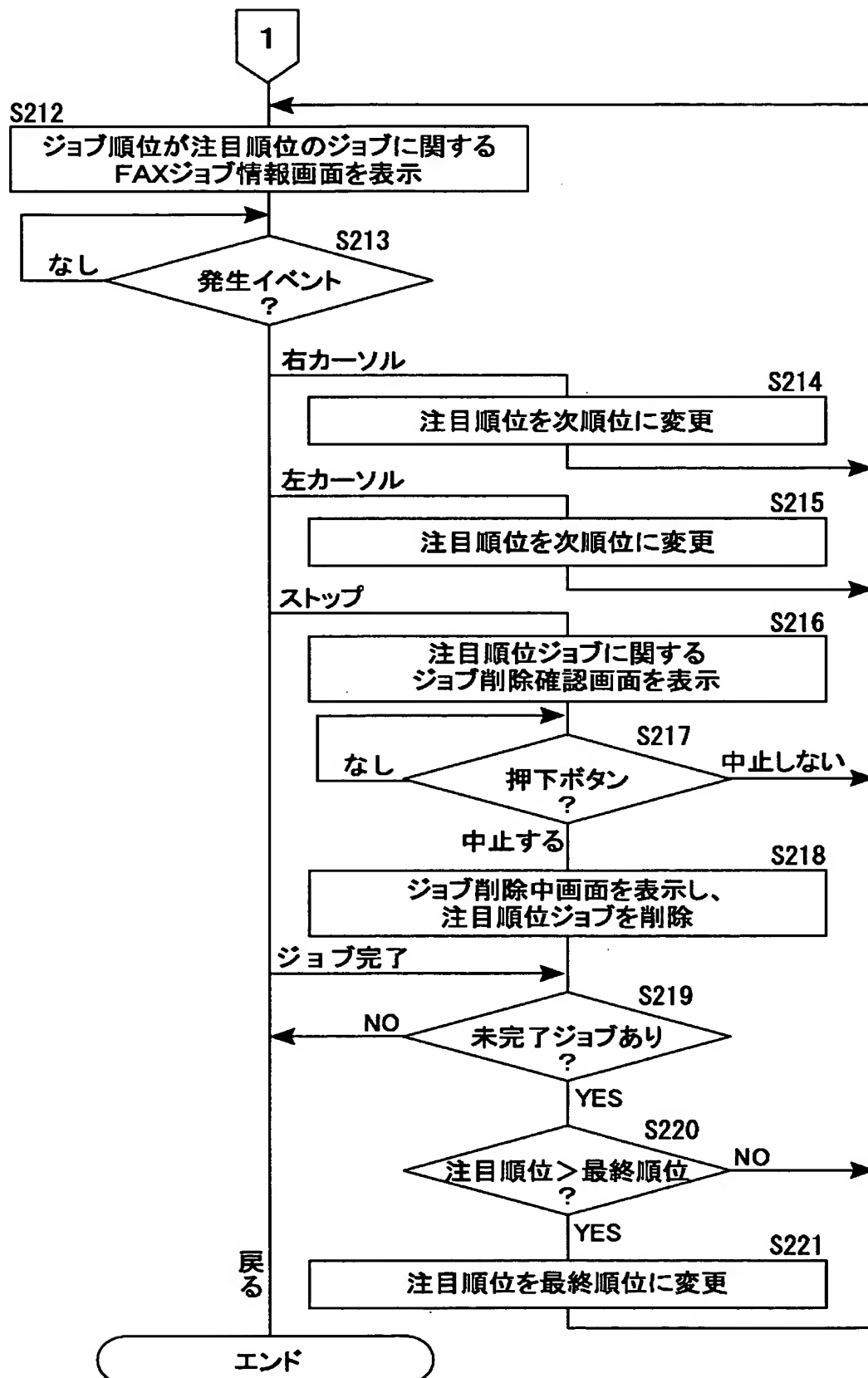
【図 8】



【図 9】



【図10】



【図 11】

(A)

スキャナエラー発生
通信エラー
スキャナのエラー解除後、 ストップボタンを押してください

(B)

このジョブを中止しています
読み取り中
宛先: 0263-48-XXXX 蓄積時刻: 2003/03/01 15:02 ページ数: 4ページ

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 実行中／実行待機中の各ジョブを内容を確認する作業が行い易いファクシミリ装置を、提供する。

【解決手段】 複数のジョブを並行的に実行可能な、タッチスクリーンを備えたファクシミリ装置を、所定の操作がなされたときに、ユーザが、タッチスクリーンを操作することにより、タッチスクリーン上に、読取ジョブ、FAX送信ジョブ、印刷ジョブ、FAX受信ジョブという順で、各ジョブの内容が示されたFAXジョブ情報表示画面を表示させることができる（ステップS102，S103～S105）状態となるように、構成しておく。

【選択図】 図5



認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 0 8 9 6 3 8
受付番号	5 0 3 0 0 5 1 1 2 2 2
書類名	特許願
担当官	第六担当上席 0 0 9 5
作成日	平成 1 5 年 4 月 7 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】 平成15年 3月28日

次頁無

特願 2 0 0 3 - 0 8 9 6 3 8

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[ 0 0 0 0 0 2 3 6 9 ]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 0 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都新宿区西新宿 2 丁目 4 番 1 号

氏 名

セイコーエプソン株式会社